

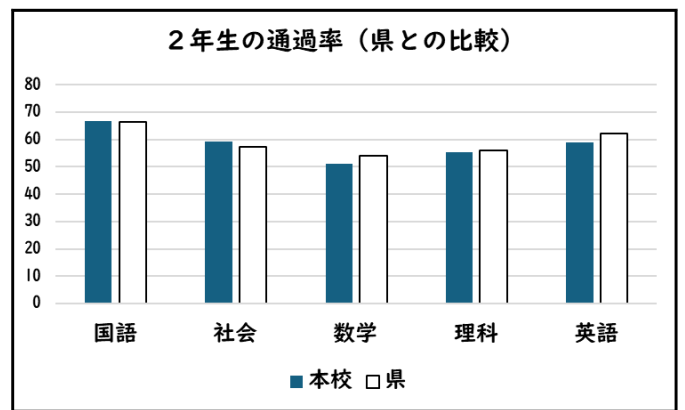
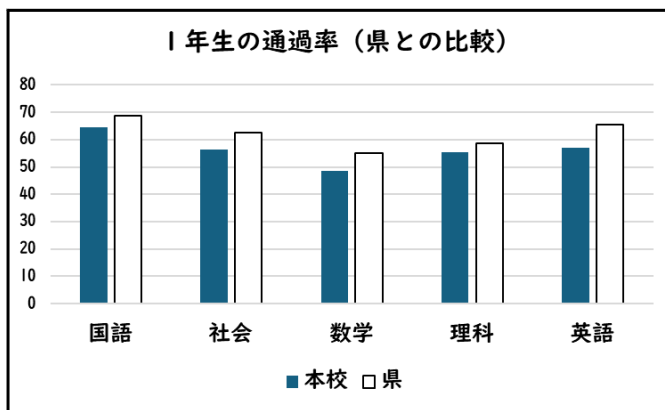


東 明

令和8年3月1日発行
 男鹿市立男鹿東中学校
 校長 小玉 和彦
 第 1 1 号

秋田県学習状況調査について

12月に実施した、令和7年度秋田県学習状況調査の結果がまとまりました。この調査は平成14年度から始まり、学習指導要領の定着度の把握、学習指導の工夫改善のための情報収集を目的にしています。調査対象は1年生と2年生です。出題範囲は、1年生は小学校6年の学習内容と中学校1年前期の学習内容、2年生は中学校1年後期の学習内容と中学校2年前期の学習内容です。出題数は各教科とも18問ですので、1問の差で通過率が約5.5%変化します。調査結果は次のグラフのとおりでした。



1年生は全教科で通過率が県平均を下回り、社会、数学、英語は、5.5%を超えて県平均を下回りました。数学と英語は、前に学習した内容をその後の学習で活用していく傾向が強い教科です。そのため、「分数の計算ができないから方程式が解けない」「平行線と角の性質が分からないから証明できない」「単語が分からないから英文を書けない、話せない」などということが起こり得ます。一度つまずくと、それ以降の学習が理解できなくなる危険性が高まります。本校では、数学と英語の授業に可能な限り複数の教員を配置するよう時間割を工夫し、生徒の状況に応じてつまずきの解消を目指した指導を心掛けています。今後も数学と英語の授業には複数の教員を配置して更なる授業改善に努めてまいります。

2年生は全教科で通過率が県平均と比べ5.5%以内の差であり、国語と社会では県平均を上回りました。また、右のように1年生のときの結果と比べると、通過率の県平均との差が8.4%も縮まりました。特に社会については、昨年度は5教科の中で最も県平均を下回っていたのですが、今年度は5教科の中で最も県平均を上回っています。

R6年度1年生 5教科合計の県との差	⇒	R7年度2年生 5教科合計の県との差
-13.2%		-4.8%

県平均を下回った数学と英語については、1年生同様複数の教員を配置してつまずきの解消を目指します。東中の2年間で向上しつつある学力が更に高まるよう授業改善に努め、1年後に迫る高校入試で各自が希望する進路に進めるよう最善を尽くしたいと思います。

学校保健委員会を開催しました

1月29日（木）、学校保健委員会を開催しました。諸事情により出席できない委員がいらっしゃいましたが、学校保健について専門の立場から助言をいただきました。特に感染症対策が話題となり、マスクや換気の効用についての助言や、歯磨きやうがいの有効性についての助言をいただきました。また、出席できなかった委員からは別途資料が届けられ、職員で情報共有しました。委員会での助言は「学校保健委員会だより」を発行し、保護者の皆様とも情報共有しました。



3年学年PTAへのご参加ありがとうございました

1月28日(水)、3年学年PTAがありました。高校入試間近ということで、授業参観では面接練習の様子を参観していただきました。各学級とも4班に分かれ、一つの班の面接官が担任で、残り三つの班の面接官は生徒が行いました。どの班も3年生のよさである温かい雰囲気の中、互いに助言し合いながら面接練習に臨んでいました。授業参観後は、ホールで入試に関する事、春季休業中の生活に関する事などについて、学年主任や生徒指導主事から説明がありました。東中での3年間を通して保護者の皆様から多大なるご協力をいただいたことに深く感謝いたします。



第4回学校運営協議会を開催しました

2月13日(金)、第4回学校運営協議会を開催しました。今年度最後となりますので、1年間の学校運営について、本校の重点である「学」「挑」「結」に着目しながら学校の自己評価を説明して熟議したあとに、各委員から評価していただきました。委員の皆様には4回の学校運営協議会を通して様々なご意見をいただきました。全てのご意見が東中のことを想う建設的で温かいものでした。協議会翌日から早速改善を図った取組もあり、よりよい学校運営につながりました。1年間ありがとうございました。



熟議での主な意見

- ・「学」について、各調査で県平均を下回っている。小中連携を以前よりやっているように見えるが、もっと連携して「これだけは」ということを伝えて、スムーズに進学できるようにすればよいのではないか。
- ・園から小へ進学するとき「ひらがなを覚えてほしい」と言われたことがある。そのようなことがあってもよいのではないか。
- ・学力向上はつまづいている生徒に対する支援を重視しがちだが、上位を伸ばすことも重要である。正に個別最適な学びが大切である。
- ・個別最適な学びは難しい。教員は生徒を認めていることを伝えているか。生徒は真剣に受け止めているか。生徒に自己指導能力を付けてあげることが大切である。
- ・小6から中1になったギャップでつまづくことはないか。これだけは覚えてほしい内容を春休みの課題としてもよいのではないか。
- ・もっと中学校生活のリアルを小学生へ伝えてもよいのではないか。
- ・「結」について、今年度はボランティア活動に東中生がよく参加してくれた。
- ・地域貢献活動の脇本海岸では地域の方も参加したが、「無気力な生徒が目立った」との声があった。
- ・山ドンドが復活したので、来年度は東中生にも協力してもらえるとありがたい。

参加した委員の4段階評価の平均

4 = 活動○目標◎ 3 = 活動○目標○ 2 = 活動○目標× 1 = 活動×目標×

「学」について：3.1

「挑」について：3.3

「結」について：3.9

【3月の予定】急な変更もあり得ます

2日(月) 3年同窓会入会式 卒業式予行
 4日(水) 公立1次募集学力検査等実施日
 1・2年実力テスト 部活動可
 5日(木) 卒業式準備(午後) 部活動休止日
 6日(金) 卒業証書授与式 部活動休止日
 9日(月) 2年防災リーダー認定講習会 5校時限
 10日(火) 5校時限
 11日(水) 職員会議 4校時限 部活動休止日
 12日(木) 生徒会委員会 5校時限
 13日(金) 公立1次募集合格発表 5校時限



16日(月) 公立2次募集出願開始 4校時限
 17日(火) 公立2次募集出願しめきり(11:00) 4校時限
 金曜授業 体育・文化後援会18:30~
 18日(水) 4校時限 部活動休止日
 19日(木) 修了式 4校時限
 20日(金) 春分の日 春季休業開始(4/6まで)
 25日(水) 部活動可
 27日(金) 離任式



※4月3日(金) 学級編制発表 新入生オリエンテーション
 4月7日(火) 新任式、始業式 4月8日(水) 入学式